

交通

強み

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
名阪国道が便利	13	11
地域内に医療機関、ショッピングがある。	11	3
都市へのアクセスがよい	9	3
電車が通っている	7	5
バスが多く走っている	7	3
隣に頼めば送迎してくれる	7	10
交通量が少ないので走りやすい	6	1
自動車の保有台数が多い	5	0
となり近所の人との交流があり、互いに気を掛けている。	5	1
隣り同士で支え合える。何かあった時にお互い協力し合える	5	9
車の運転ができると行動しやすい	4	0
車が通りやすい広い道路が増えてきた	4	1
買物バス“ユイの里”	4	8
見守りがあり安心できる	4	2
皆元気。よく頑張っておられる	4	4
小中学校・幼稚園など公共施設が団地内にある	3	5
伊賀鉄道がある（ユニーク）	3	0
一本道なので迷わない	3	0
近鉄駅がある	3	1
道路網がよい。車で移動しやすい	3	0
道路が整備されている	3	0
お買い物バス、移動販売	3	5
災害がない	2	0
移動販売がある	2	2
景色がとても美しいです	2	2
自然環境に恵まれている	2	0
信号がなく、スムーズに移動ができる	2	2
回数は少ないがバスが走っている	2	0
名古屋、東京の夜行バスある	2	0
スクールバスが運行している。	2	0
団結力が強い	2	5
近隣の人と顔なじみ	2	3
自治会・自治協の体制が整備されている	2	3
行政・消防・警察まで近い	1	0
老人介護センターがある施設（デイサービス）	1	0
木が生い茂っているので涼しく走れる	1	1
野菜が採れる	1	0
農業、林業の一次産業資源は豊富。	1	1
介護タクシーが2社存在	1	1

柘植タクシー	1	0
安全運転（すぎる）	1	0
にんまるデザイン的におもしろい	1	0
高速バスある	1	0
物流が良い	1	0
昔からの居住者が多い	1	0
自治協で病院に送ってくれる。空き家が少ない	1	1
歩道と車道の区別があり安全に通行できる	1	0
片側一車線が多いので、車線を変更しなくていい。	1	0
河診バス	1	0
車の駐車。自治会の話を聞いて守ってくれている	1	0
スپークスマン（女）が居り、情報伝達が早い	1	0
地域（区内）も含めて土地勘がある	1	2
組内の家庭事情がお互い理解し合っている	1	0
行事等での出合の集合率は高い。（川北）	1	0
孤立している家がない	1	0
病院が送迎してくれる	1	0
移動手段の地域福祉がある	1	0
コミュニティカーについての取り組み	1	0
具体的活動計画が作成されており、2025年問題にはほぼ対応・活動出来ている。防災・高齢者の見守り体制・NPOとの協力	1	0

弱み

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
公共交通が不便である	14	4
バスの本数が少ない	13	4
高齢者に対して交通手段すくない。	13	15
高齢化が進み若者が少ない	7	5
コンビニ、スーパーがない	7	10
地区によりバス路線から遠い	6	6
坂道がきつい	5	0
一人歩き。自転車危険	5	0
病院まで遠い	4	5
空き家が増加する可能性が高い。	4	3
田舎の付き合いがある中でだんだん薄れがち	4	2
中学校・高校の移動距離が長い。送迎バスがない。親の負担が大変	4	4
タクシーが少ない。	4	0
JRの本数が少ない。伊賀鉄道との接続が悪い	4	2
積雪時に長野峠、名阪が通行止めになる	3	3
バスの料金が高くて使いにくい。	3	3
子どもが少なく、学校が次々に統合される	3	5
動物（獣）との接触事故がある	3	0
買い物バスが近くまで来ない	3	1
ボランティアの担い手が少ない	2	1
農業、林業の活用できる体力（若者）、知力（頭脳）がない。	2	0
国道のバイパスが無い。災害時の迂回路がない	2	4
タクシーだと料金が高い。	2	0
子どもが都会から帰ってこない	2	3
市内駐車場少なくて観光客帰っちゃう	2	0
野生動物の作物への被害。	2	0
現在と同じ家族構成が維持できない	2	0
道幅が狭い、歩道がない	2	2
JR、近鉄の駅までが遠い。	2	1
駅まで行く交通手段	2	2
まごのて運転手の高齢化	1	1
自治会・自治協の担い手の減少	1	0
昼間人口は、高齢者ばかり	1	0
運転手の確保をどうするか	1	0
同世代の住民が多く同時期に車に乗れなくなる人が増える	1	0
家族が少なくなってきたている。	1	0
高齢者の車の運転が怖い	1	0
輪番病院へのアクセスが悪い	1	0
道の駅伊賀らしさがほしい	1	2
(電車やバスに) 乗り遅れてしまった後に時間をつぶせる場所の少なさ	1	0
目的の利用施設が遠い。（地域で集約化したため）	1	0
周囲がすべて山に囲まれている	1	1
避難場所がない。災害に弱い。移動が必要	1	0

伊賀鉄道の運賃が高い	1	0
駅のパーキング無料に！	1	0
名阪国道天理～大阪まで無料に	1	1
公共交通への利用金補助がない	1	0
事故時の保障（隣の人の車に乗車した場合）	1	0
若者の働く場所が少ない	1	1
名阪いいけどみんな通りすぎていっちゃう	1	0
まとまりがない。	1	0
伊賀市になって悪かった。郡部すべてがち。こんなはずじゃなかった	1	0
送迎してくれる人に気をつかう必要がある	1	0
リーダーシップをとる人がいない。	1	0
若い人は地域の交流に消極的	1	1
主張が少なく、周りの意見に流される。	1	0
IT連動	1	1
幹線道路までの距離が遠い。	1	0
道路見通しが良いので、他府県の車がスピードを出す。事故が発生しやすい	1	0
雪、凍結・スタッフレスイヤが必要	1	0
幹線道路が大きいが車渋滞がかなりある	1	0
中心部を走る道路が狭く混雑する	1	0
外灯が草に覆われて意味がない	1	0
木が茂っていて信号がみえない	1	1
団地内に信号交差点がない（通行量の）	1	0
名阪国道がガタガタ	1	0
高山～下友生まで長く（上・下）地区で区分されている	1	0
地形的に奥が深い、距離が長い	1	0
山の木が道路に垂れ下がっている場所が多く、いつ災害にあうかわからな い。	1	1
風雨の後、道路に木の枝葉の散乱に困る。	1	1
草、すぐ伸びる。出合が多い。道路管理が住民まかせ	1	1
公共交通、バス、JRに対して自分たちの身近なものにしていくかが弱みで あり、課題	1	0
介護タクシーの運行を充実する必要性がある。	1	1
中学生の生き帰りの自転車が、見てもすごく危険に思ってしまう。道 が狭いので仕方がないのだが…	1	0
子どもがスポーツくらぶ、塾に行きたくても送る人が家にいない	1	0
子ども達が自分で遊びに行けない	1	3
どんぐり号は1車両では少ない。	1	1
関西本線のダイア	1	0
早朝及び夜の移動がしんどい（公共交通機関が無い）	1	2
今後、若い人が少なくなると車に乗せてくれる人がいなくなる。	1	0
通勤に時間がかかる	1	2
会社への自転車通勤が多い	1	0
地区内で行事を予定しても、出かけていくための交通の便がほとんどな い。	1	0

移動については名阪国道もあり完全に車社会。このあたりをうけていることが弱みである		1	0
徒歩でスーパーに行けない	 	1	3

理想

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
若者が定住できる魅力的な地域づくりができる	13	42
買い物できるところがあれば良い	11	26
電車やバスの本数が増えている	6	8
本当に安全な自動運転カーの実現。	6	9
企業誘致で就職難と地元Uターン増やす	4	8
多種多様の医療専門機関ができる（眼科・外科・病院施設）	4	4
出来る人が出来ない人を助ける	4	4
病院までの交通の便がある	4	6
公共交通機関の発達	4	2
インターネット購入・代行サービス	3	1
自動運転バスが走っている	3	5
空飛ぶ車での移動。	3	7
使いたい時に使える交通手段	3	11
移動販売をもっと充実させる	2	5
飲食店が沢山あってほしい	2	4
介護者を受け入れる施設が増えたら	2	2
簡単に呼べて送迎してもらえる地域。AI活用。	2	2
空港が出来る。セントレアOR関空・伊丹へ飛行	2	4
高齢者の買い物サポートシステム	2	11
コミュニティバスの運行	2	3
コンパクトシティに移行	2	1
自宅の前まで迎えの車が来て、送り届けてくれることが出来ている	2	3
診療所の継続	2	13
鉄道が走っている（15年後）	2	1
年寄が多くなるので移動方法を考えて	2	1
ドローン宅配	2	2
避難場所に安全に到着できる地域になる	2	1
リニア	2	8
良質な空家の活用・郊外からの高齢者世帯などの移入提供	2	0
高齢者用の道路の整備	2	2
24時間診てもらえる病院	1	3
JR関西線が便利になりフィーダーサービスで活気づく	1	1
Loop的なものが当たり前に利用されている	1	2
安価で頼めるボランティア会社ができている	1	5
伊賀鉄道の赤字脱退	1	0
衣食住すべてが都市、町と同じ生活ができるようになっている。	1	1
いつでも電話一本でタクシーが来てくれる	1	0
稻作からぶどう畑へ	1	1
イベントがあっても渋滞しないような工夫がされている	1	1
上野中心からインバウンド直通バス	1	0
駅及び目的地へのライドシェアやレンタル自転車（乗り捨て）	1	0
駅近くの活性化	1	1
駅の路線を車両用に作り替えたらどうか？	1	1

大きなイベント（ロックフェスなど）企画	1	1
大阪行きバス走行（接続可能）	1	0
オンライン診察が可能	1	3
外国人であってもよいので地域住民の数がもっと増えてほしい	1	1
行政バスが地域に入って数多く走る事。	1	0
草刈が自動化になる。若い方が住む	1	2
組内・地区の付き合いの強化（田舎の強み）	1	0
車いすで走れる道路整備	1	1
車の運転が出来なくても不便なく生活できる	1	8
景観・環境が良いので移住者が増え集落が活性化	1	1
高齢者と若い世代が交流できる場があればよい。	1	0
子ども達が自力で遊びに行ける地域。	1	0
酒めぐりコースの設定。夜まわり	1	0
里山が見直される観光地を作る。人を集めめる。	1	0
シェアハウス等、居住地を集約	1	0
自宅で介護できる用具が増える	1	0
自転車専用道路が出来ている	1	2
自動運転車が地域内を常時巡回（行政、河診、買物）	1	2
市民だけでも駐車場無料	1	0
地元中学、高校、大学卒後の地元企業優先就職	1	2
柔軟に最新のものなど取り入れる町に	1	0
住民の福祉が向上する。元気になる住民	1	0
需要を集めて、デマンドバスの運行されてるといいかな？	1	0
全ての交通がスマホアプリで乗車できる！	1	0
スマート農業の進化と低コスト化	1	1
タクシーが乗りやすくなる。PM 7時～12時営業	1	3
地域通貨をつくって結いまーるをつくる	1	0
柘植駅にエレベーターが付いている	1	4
柘植駅へ行く手段がいつもある	1	1
出合いを少なくしたい（除草）	1	0
年寄りを大切にしてくれる町、若い人が中心に移動をしている	1	5
共働きの子どもさんを預けるところを作る	1	2
トヨタパレットが走れたらよい	1	0
にぎやかな祭りの復活	1	3
布引の自然の有効利用。	1	2
布引のミネラルウォーターを販売している。	1	6
年齢別による組織化（青年会・婦人会・少年会）	1	0
農業収入で暮らしが成り立つ	1	0
乗合タクシーがあり呼べば即来てくれたらいいな	1	1
人がいないと公共交通も発展しない	1	0
一声かけるとみんながワイワイ集まる。	1	0
人助けのボランティアはしたいのだが、生業で働かないと生活していくないので、ボランティアで介護施設の延長みたいな業種があればそれを仕事をする若い子も出てくるのではと思う。	1	0
人を呼び込む目玉、観光地を中心に素敵な布引に。	1	1

福祉車両の利用が簡単になれば？	1	0
福祉タクシー（格安）の充実	1	1
福祉タクシーが増えて、低コストであれば	1	2
文化的（カルチャー）の充実	1	2
ヘリポート等の整備（病院用）	1	0
保育所や学校が建っていて欲しい	1	0
歩道がほしい	1	1
もっと安いタクシーを。	1	2
山田管内に公的施設が充実できていればよい。	1	0
利便性の高いコミュニティカー	1	1
林道を利用してバイクロードを作る。	1	1
若い世代が自治に参画	1	5
移動範囲の広域化に対応したインフラ整備	1	1
何時でもどこへでも行ける移動のできる車が自宅に一人に一台ある	1	0
高齢者用の車or移動手段の発達	1	1
大都市との移動手段の発達	1	0

解決方法（市民）

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
公共の交通機関がなくならないように利用する	5	4
健康維持、食事、運動、会話	4	6
心よく移住者を迎える仲良くする	2	3
勉強する！他地域のことなど。	2	0
助け合い、自助、共助	2	2
空き家が増加する可能性が高い。空き家の活用を考える。	1	2
伊賀の良さを知ってもらい、たくさん的人に来てもらえるように探究活動する。	1	1
イベントの企画告知に関わる	1	0
インターネットを活用した買入支援	1	0
運転に気を付ける	1	0
カーシェアリング車の貸出	1	0
観光受け入れ・民泊・体験	1	5
草刈（除草）。防草シートで負担軽減	1	1
グローバル化をもっと進める。	1	0
高齢者の時間を作る。福祉ドライバー	1	0
声を上げる	1	0
自動運転の車の普及	1	1
住民の組織化、準備を急ぐ	1	0
世代を超えて交流をしていく	1	1
他人を思いやれる気持を多くの人が持つことを目指す	1	3
地域でのつながりを深くしたり保つためには集会所等を利用して催し物やサロンは大切	1	1
常にやれること意識する	1	0
とにかくジビエを食べる。	1	1
どんぐり号やスクールバスをオンデマンドで希望時間、希望場所へ行けるようにAIで計画を立てる。	1	1
普通二種を取る	1	1
魅力ある地域づくり	1	1
よい口コミ	1	1
近所でコミュニケーションをこまめに取り合う	1	1
住居間の車の乗り合い	1	0
外国の方との交流（交流会）	1	3
地域で今まで以上声掛けをおこなう	1	1

解決方法（地域）

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
みんなで意見交換できる機会	4	5
買い物・病院への送迎サポート	4	10
一体になって仲良くする	3	1
まごのて号の再開	2	4
観光客数UPして経済活性	2	0
地域で乗合車両の組織を作る	2	4
乗り合わせタクシーをする	1	0
巡回バスとJRの乗り合わせを要望する	1	1
車のレンタル、シェアを多くして車を持たなくともいいように考える	1	5
空き家、田舎暮らしの魅力発信	1	7
伊賀へ初観光に来てくれた方々へのサービスex.忍者体験？の無料	1	1
中山間地域の産業景観の良さをPRする	1	1
自然環境を残し、希少性を高める。	1	0
工場等を呼び込んでほしい	1	4
地産の市場を作る。	1	1
地区住民で林道修理をする。サイクリングロードを作る。	1	0
見守り活動	1	0
困っている人を助ける風土を作れる	1	1
災害時の移動にあって、若者がいなくなれば本気で考えるべき。	1	0
コロナ禍の中で地域として大事にしてきたことが、なくなってくるというより減少してきた気がする。そのため近所付き合いを大事にするため区の運動会を大事にしていきたい	1	1
市民のサークル等で意識を高める	1	0
地域で何が必要かを考え優先順位をつけて解決のための取組みを進める	1	2
地域でお買い物ツアーを実施する。	1	10
集会所（みんな集まる場所）今年度直します	1	1
移動について要望を集めて回ってくれる人、機関を作る。	1	0
コミュニティバスの運転を地域の人で順番にまわす	1	2
無人バス運行	1	3
インターネット購入・代行サービス	1	1
配達サービス・地域と企業の繋がり	1	4
市民と行政のパイプ役がない情報の交換	1	1
地域内の資源（人材、施設、団体）の最大限の活用をしていくために、行政からの情報提供を求める。	1	0
行政と地区民が話し合える場が欲しい。	1	1

解決方法（行政）

意見（原文ママ）	意見数	いいね数
バスの本数をもっと増やしてもらいたい。	3	0
伊賀の伝統について、SNSを活用し、世界に発信し観光客増加	2	4
オンラインを活用する。できない人をサポートする体制をつくる	2	0
税金の無駄遣いをせず、必要な予算を優先的に出す	2	0
バス料金の値下げ	2	0
利便性をより高めてほしい	2	0
AI活用モデル事業に手を擧げる。	1	1
アンケート結果から一緒に考えていく。	1	0
伊賀市はダメ。もっと旧上野市だけではなく郡部も大事にしてほしい	1	0
移住促進	1	0
移動検診バスの充実	1	0
イルミネーションで観光地化。休耕田をアヤメ、花しょうぶ等を植える。	1	0
観光振興への予算アップ	1	1
行政サービスをもっと住民によくわかるようにPRする。	1	1
行政の交通専門もところから話にきてもらう。	1	1
草刈り等の自動化等に取り組む政策	1	4
国と連動して空飛ぶ車など導入に向け情報発信する	1	1
人材、予算を確保する	1	1
研究	1	0
交通アプリ・地域通貨アプリ	1	0
コンパクトシティについて方向性をしめす	1	0
自治協に役所の人、社協の人、必要な人がいつもいる。	1	7
市長、議員と共に解決方法を勉強する	1	0
自動運転車巡回実現に向けて、長期、中期、そして今何をするか。	1	1
車両の開発支援（線路活用）	1	4
集会所修理お願いします	1	1
住民と行政の定期的な話し合い・情報交換	1	0
情報・仕組みづくり・コミュニティづくり	1	4
情報の仕組みづくり分かりやすい名前	1	1
整備（環境）	1	5
他地域と連携できることは連携していく	1	0
他地区の考えていることを行政から提供してほしい。	1	1
地域住民の福祉向上。特に移動に関し政策を立ち上げる	1	0
好きなときに、負担なく移動できる	1	0
中学生のバス通学。交通事故を起こす前にやってほしい	1	0
デマンド交通を計画して欲しい	1	2
東西の道路→南北の道路も拡張	1	10
認定に体験を	1	3
福祉や移動について、理解を深めていく。☆資格の取得など。	1	0
プログラムを組んだり、費用も公的に負担してもらって、皆が送迎の助け合いができるようになる。	1	0
訪問型のサービスを充実させる	1	10

もっと介助、介護できる人を増やす。一人に一人公務として。		1		5
予算をとってきてもらうため、行政との連絡網を決めてほしい。		1		0
林道活用のための予算をつけてほしい。		1		1
若い人（子ども）が戻ってくる地域づくり！		1		0
専用レーンを作り、そこを走らすようにする		1		0
避難ルート及び方法の確立		1		2
病院・スーパーをコアとした町づくり		1		0
集会所修理お願いします				
プログラムを組んだり、費用も公的に負担してもらって、皆が送迎の助け合いができるようになる。				
福祉や移動について、理解を深めていく。☆資格の取得など。				
他地区の考えていることを行政から提供してほしい。				
行政の交通専門もところから話にきてもらう。				
アンケート結果から一緒に考えていく。				
AI活用モデル事業に手を挙げる。				